

## 2-28-1 金神社由緒

金 神 社（金大明神）

祭 神 金山毘古神（かなやまひこのかみ）

境内神社

日吉神社

祭 神 大山咋命（おおやまくひのみこと）

稻荷御崎神社

稻荷金高神社

祭 神 宇賀御魂神（うかのみたまのかみ）

金 神 社（金大明神）

益須寺（やすでら）を守り、すべての村の繁栄と安全を祈願するため、天武天皇の命令により、白鳳7年4月13日に義観法師が大和国吉野金峰山から御霊をお迎えしてお祀りした。

もと金大明神と称したが、明治の初期に金神社と改められた。

また、金森の地名は、金大明神が江州益須郡に鎮座されたことから名付けられた。

説明板より